

「民主党奈良市議会だより」 Vol.9

しなと幸 一 瓦 版



し 信頼できる医療
な 無くそう介護難民
と 止めよう少子化
幸 幸せ感じる。奈良
一 一番を目指す。街づくり

プロフィール

1957年4月生(52歳)

鶴舞小学5期生・登美ヶ丘中学1期生
奈良工業12期生・京都コンピューター学院修

奈良商工会議所会員・奈良県防衛協会員
朋友会会員・奈良西支部交通安全協会員
学園朝日元町1丁目第2自治会会長
民主党奈良県第一区副幹事長
民主党奈良市議会議員
厚生委員会・議員運営委員会・市議会情報公開審議会・国保運営協議会

今年も、1ヵ月が過ぎ2月に入りました。常任委員会が、2日の企画環境委員会から始まりました。委員会では、私も注目する「ドクターカー」を本格的に導入すると消防局の答弁があり、奈良市の医療体制が少しずつ改善されると喜んだのもつかの間、2日後の4日に医師の確保が出来ないとの理由で、来年度の予算はゼロベースとの報道がありました。

当日は、私の所属する厚生委員会が開かれる事から消防局と連携している病院事業課と早朝から連絡を取り、予算委員会において決定していない現時点での報道について質問要請をしました。厚生委員会において、たった2日間で正反対の結果になったのか、消防局と病院事業課間の調整が行われていなかったのか、医師確保の問題についても質問に対し、病院事業課は市立奈良病院の総合診療の中で医師の確保をしていけるように調整中であり、6月には試験的に週2回程度、実現する予定だと答弁いただきました。しかし予算審議で正式に決定していません。この問題は、3月議会において引き続き質問をしていきます。

「奈良市休日夜間応急診療所」開設当初から奈良市医師会の方々に、奈良市民の健康を支えて頂いている休日夜間応急診療所です。当初は、医師会立日曜診療所が奈良市医師会内に開設されました。更に夜間についても市民や奈良市からの要望によって、全国に先駆け昭和26年から医師在宅輪番制により夜間往診制度が確立されました。

しかし、現在の診療所は奈良市の所有であり、老朽化の為に建替えも検討しなければなりません。ここで考えなければならぬ事があると思います。建物使用料をはじめとする委託管理費

及び診療報酬全額を医師会に支払っています。

今後、建て替え等を行う場合は応分の費用負担を求めても良いのではないのでしょうか。

「学童保育」(バンビーホーム)問題で、昨年学童保育の保護者より予めから要望について会議が行われました。延長保育や施設の改修について多くの要望が出され、新市長も保育所の延長保育に対し前向きな考えである事から学童についても同様なのか、また実施に向けた問題点等を質問しました。

保育課より、実施に対して障害となることは、保育士の確保と財源が、重要であると答弁されました。具体的な問題を今後も詰めていきます。

「危機管理」についてです。奈良市における危機管理について、各部署でのマニュアルは作成されていますが、統括すべき部署が今年の4月から危機管理課から市民安全課内の係に降格?になっています。奈良県との連携を図る部署が係で良いのでしょうか。様々な部署の連携を想定すれば県と市の情報の共有化は必要不可欠です。地域主権が囁かれる今、安心できる行政サービスを構築しなければなりません。

来月から始まる定例議会・予算委員会で継続的に質問をしていきます。

しなと幸一 事務所

奈良市学園朝日元町 1-506

電話 0742-41-9814

Fax 0742-43-7212

ホームページ <http://shinato.jp>